

春中牛馬に飼候ものを、秋さき

支たく仕るべく候、でんはたへ刈しき

なりとも、其ほか何ごえなりとも、

よくいれ候えば、つくりにとり実

これあり候事

一男はさくをかせぎ、女房は苧はた

をかせぎ、夕なべを仕り、夫婦

★刈しき（刈敷…施肥の一つ、刈り取った芝草の堆肥）

苧はた（からむし…麻織り物）

夕なべ（夜なべ、夜の仕事）

ともにかせぎ申すべく候、然ばみめかたち

よき女房なりとも、夫のことをおろそか

に存、大茶をのミ、物まいり・遊山ずき

する女房を離別すべし、去ながら子ども

多これあるか、前かど恩も得たる女房

ならば格別なり、またみめかたちあしく候とも、

夫の所帯を大切にいたす女房をば、いかにも

★みめかたち（見目形…顔立ちと姿、容貌風姿）

物まいり（物参り…社寺に参詣すること）

遊山（ゆさん…気晴らしに遊ぶこと、見物）

前かど（前廉…以前、まえまえ）

所帯（しよたい…家屋、財産、暮らし向き）